

業績がよい会社の Best Practice FP&Aが実行している12の原則

IMA（管理会計士協会）が734企業に対してFP&A Surveyを行った（2014）

- 1) 企業が設定している目標を継続的に達成または超えていること、
 - 2) 企業の競合の業績に匹敵または超えていること、
- の二つの基準を両方満たしている367の企業を業績の良い会社（ベストパフォーマー）とし、その企業のFP&Aが行っている12の行動原則を見つけ出した。

FP&AがEffectiveな組織

株主価値・事業価値が向上する

戦略を実行することができる

Financial & Operational 目標を達成するメカニズムを設定することができる

会社の戦略を組織全体が理解し、各部門が何をすれば達成できるかを理解する。

経営資源の配分を最適化することができる。

プロジェクト、プログラムの実行調整がうまくできる。

FP&AがIneffectiveな組織

組織の資源（時間とお金）の無駄遣い

目標の達成が難しくなる

部門間に行き違いが多くなる

いい戦略があっても実行に移すことができない

Serven, L. 2017. 12 Principles of Best Practice FP&A: High-performing companies use these principles to implement best practice FP&A that drives business results. *Strategic finance* 99 (5): 32.